

(仮称) 日野町認定こども園施設整備事業

基本設計説明書 概要版



(仮称) 日野町認定こども園について

コンセプト

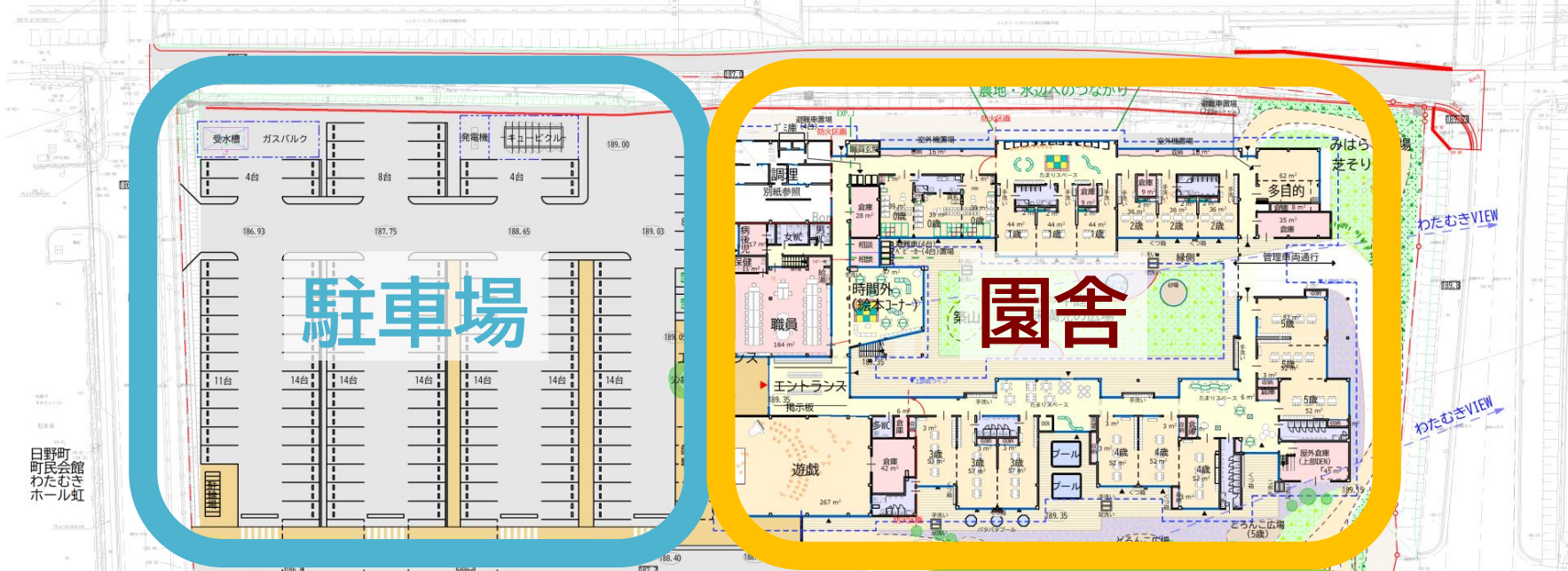
- ① 基本構想への配慮
- ② 基本設計図

わたむき山の麓で出会う笑顔つむぐ夢の小路

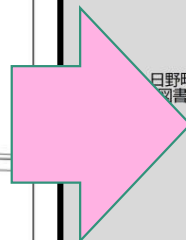
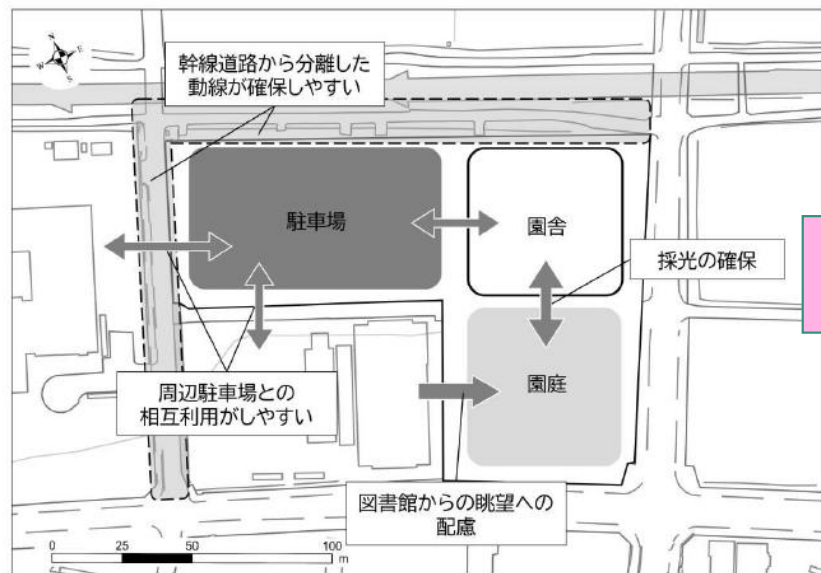
- ・ 綿向山の眺望を最大限に活かします
- ・ 異年齢交流を促す中庭を囲む夢の小路(回遊動線)設けます
- ・ 地域とのつながりを重視した開かれた園を目指します



① 基本構想への配慮



■建物配置図■



基本構想でまとめられた
新こども園の整備方針である
「5つの柱」を大切にします。

柱Ⅰ．安全でだれもが安心してすごせる施設 安全性

柱Ⅱ．子どもたちが心も体ものびのびと成長できる施設 快適性

柱Ⅲ．多様な保育ニーズに応え、保育者が働きたい・働き続けたいと願う施設 利便性

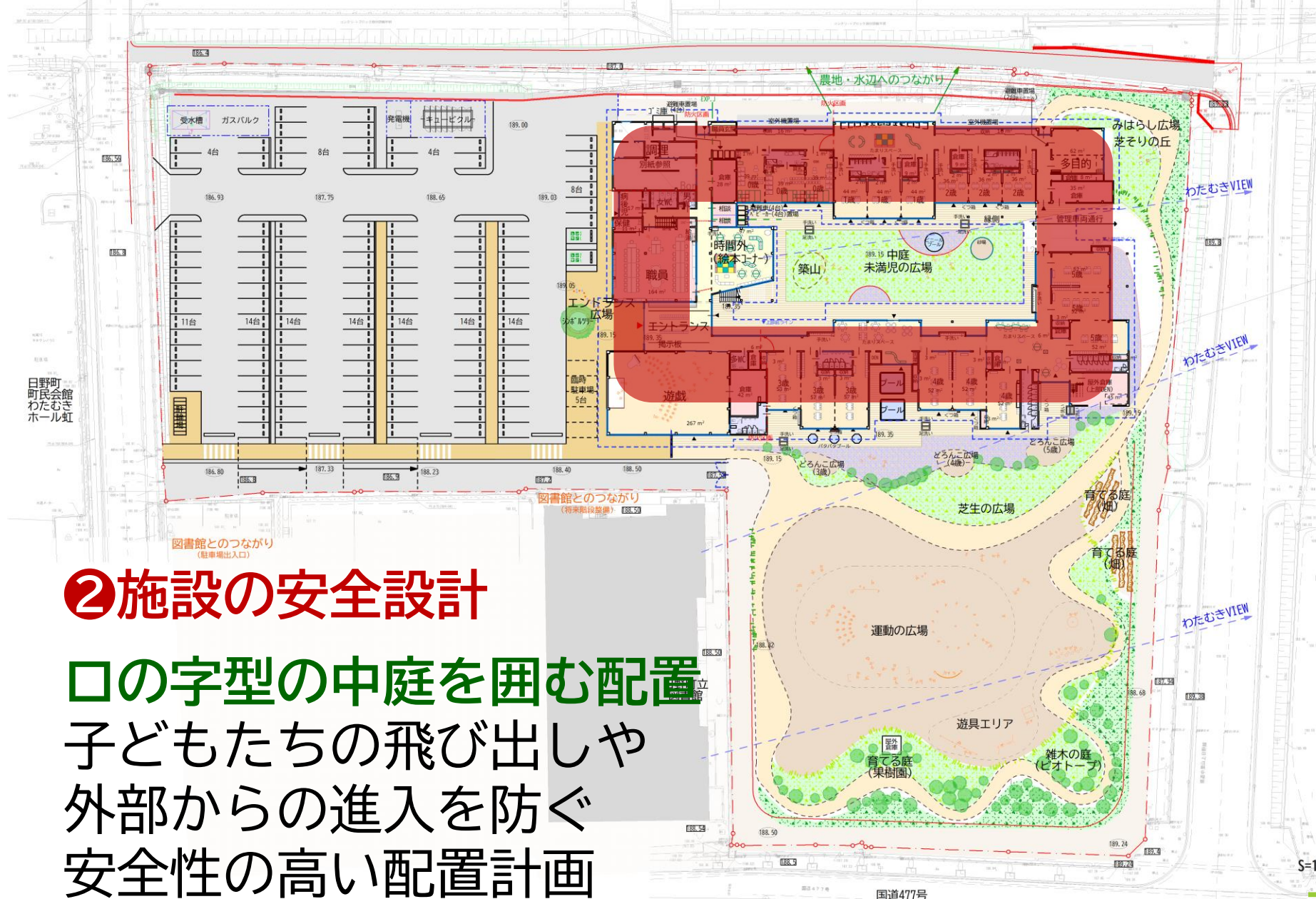
柱Ⅳ．地域とつながり、子育て支援や交流の機会を生み出す施設 交流性

柱Ⅴ．周辺環境を活用し、自然とのふれあいや学びが広がる施設 周辺環境

① 基本構想への配慮

■柱Ⅰ 安全でだれもが安心してすごせる施設

(安全性) 抜粋



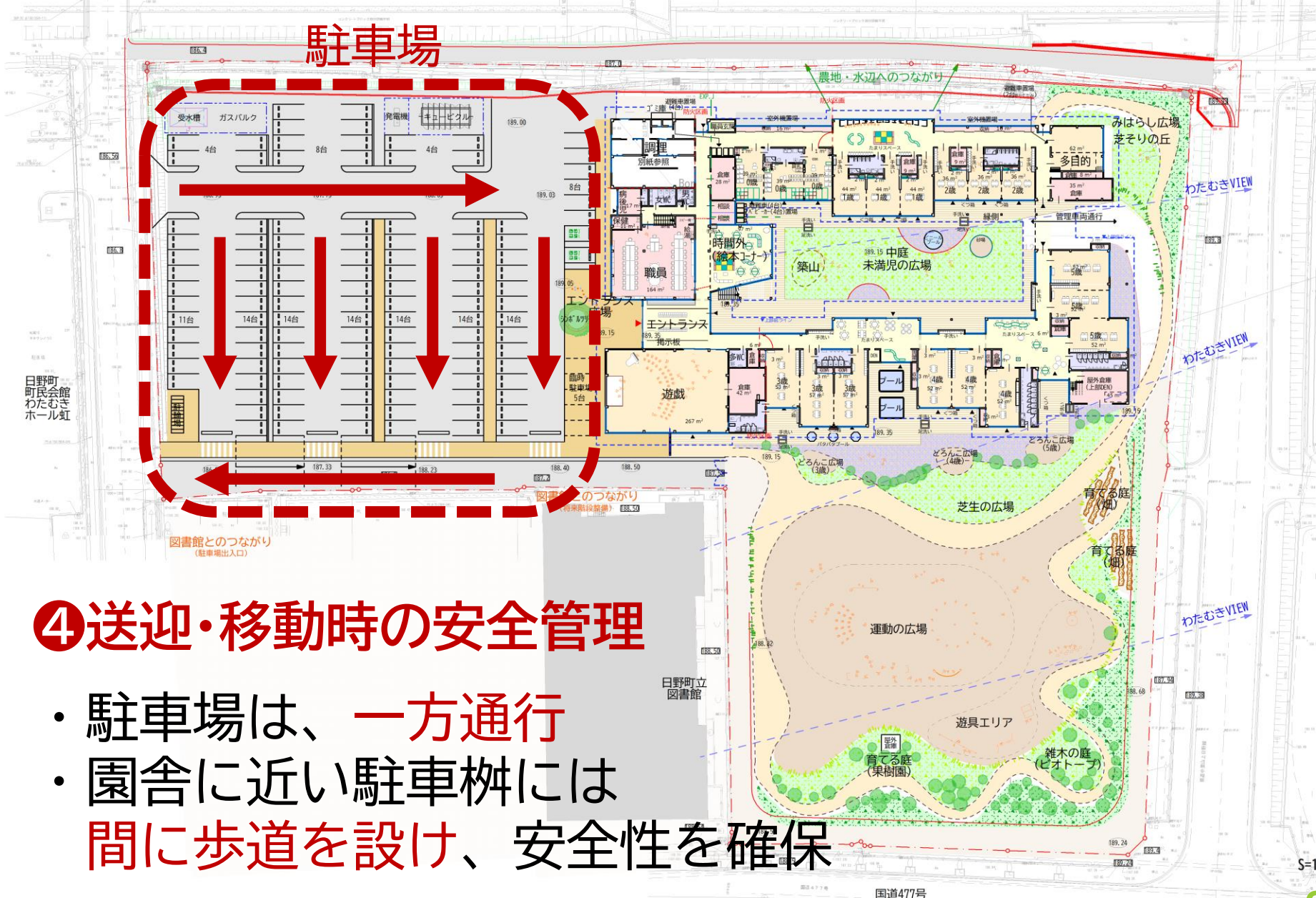
②施設の安全設計

口の字型の中庭を囲む配置

子どもたちの飛び出しや
外部からの進入を防ぐ
安全性の高い配置計画



駐車場



④送迎・移動時の安全管理

- ・ 駐車場は、一方通行
- ・ 園舎に近い駐車桟には間に歩道を設け、安全性を確保

エントランス広場

駐車場

混雑解消

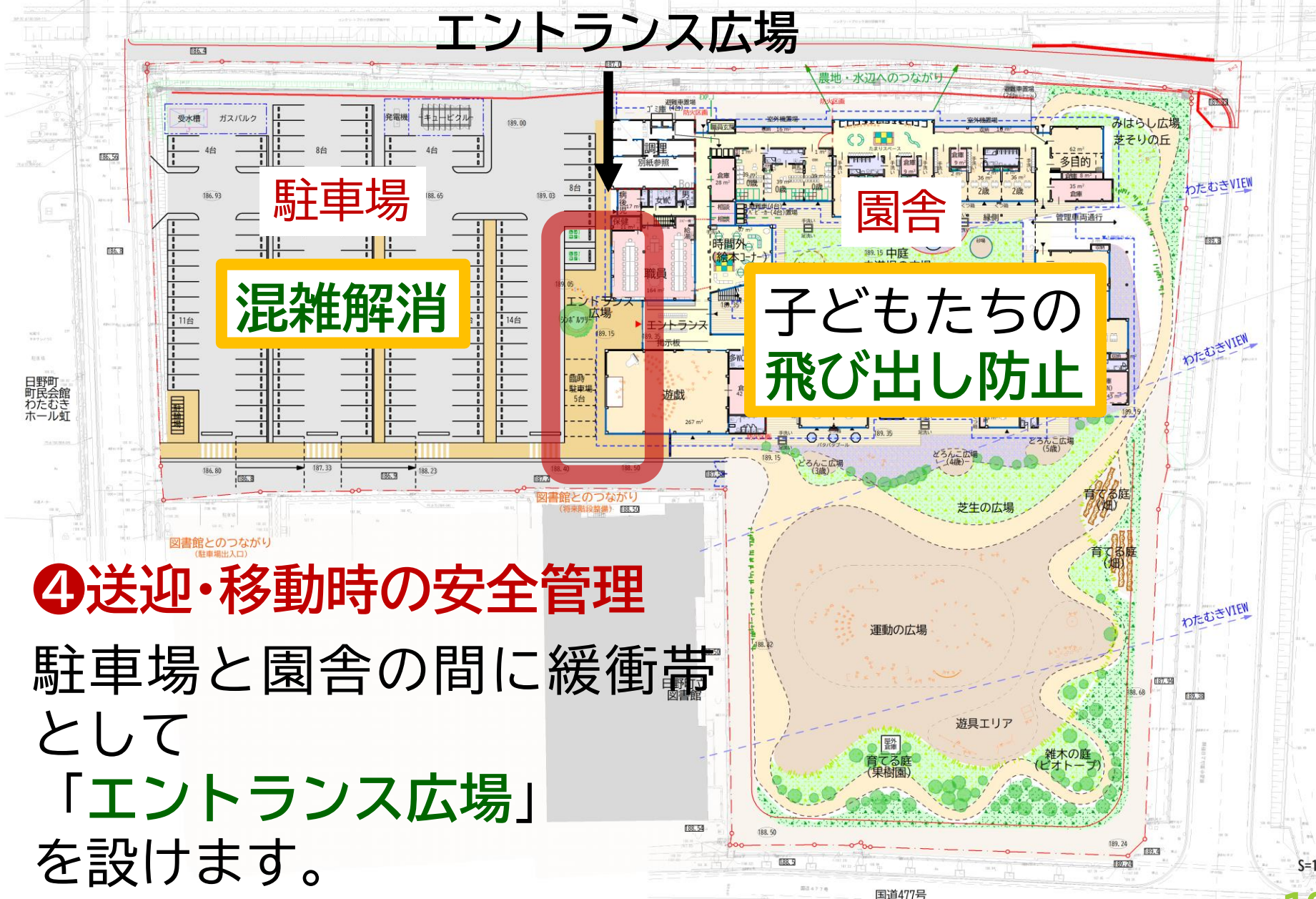
園舎

子どもたちの
飛び出し防止

④送迎・移動時の安全管理

駐車場と園舎の間に緩衝帯
として

「エントランス広場」
を設けます。



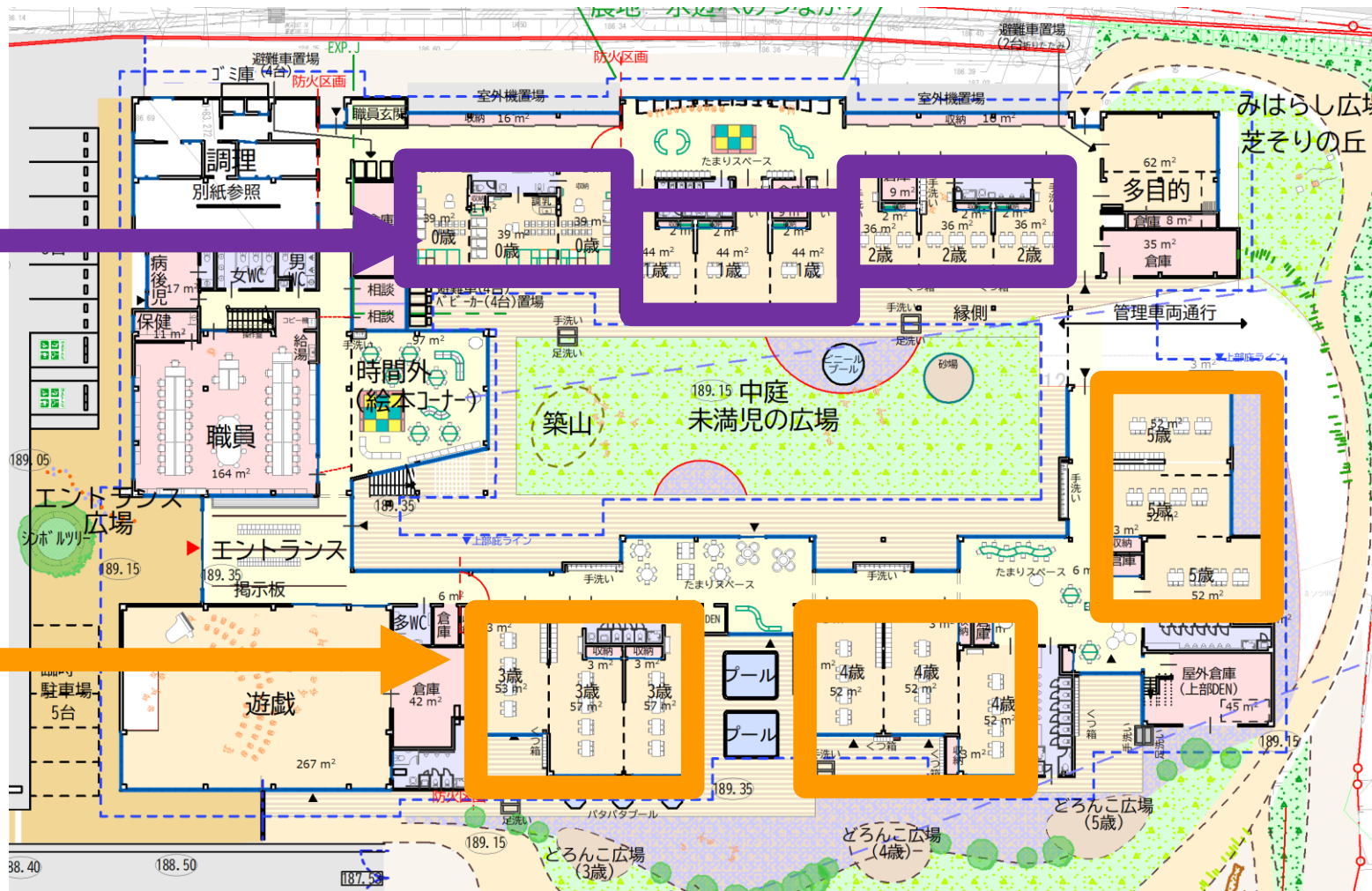
■柱Ⅱ 子どもたちが心も体も
のびのびと成長できる施設

(快適性) 抜粋

中庭に面して
未満児
のエリア
安全性を重視

園庭に面して
幼児
のエリア
多様な
活動を重視

平面図



①環境の快適性

音環境に配慮

中庭側を静のゾーン

ゆったり静かに

過ごす中庭

外庭・園庭を動のゾーン

活動的に動く外庭

幹線道路沿いには車による騒音を適度に緩衝する

緑地帯を設けます。

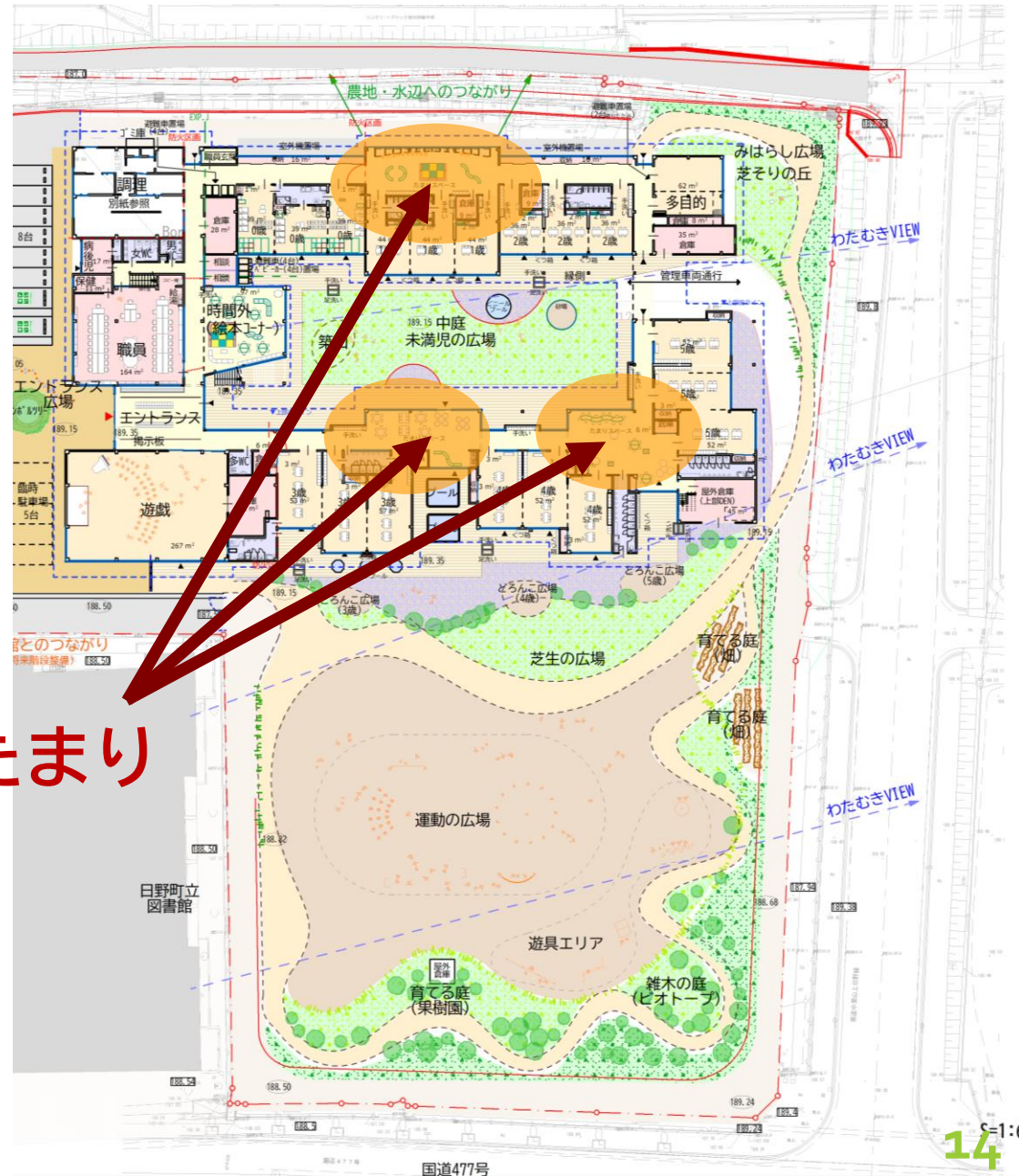


④心の快適性

廊下（夢の小路）に
「たまり」を設ける

多様なコーナーを
廊下に設けることで
学びの場としても
機能し、
異年齢交流を
促します。

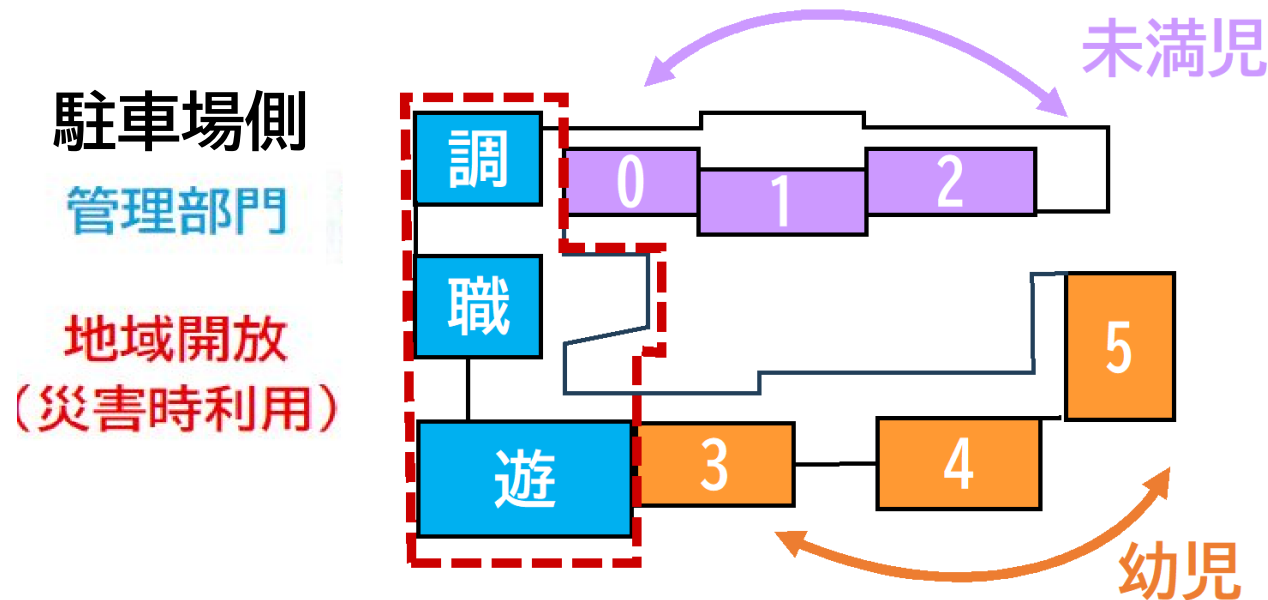
たまり



■柱Ⅲ 多様な保育ニーズに応え、
保育者が働き続けたいと願う施設

(利便性) 抜粋

② 保育者が働きやすく、 長く働き続けられる職場環境



- ・ 未満児ほど職員室に近い場所にまとめて配置
- ・ 活発な幼児を未満児から程よく離すことで、
子どもたちの怪我や事故の発生を抑制
- ・ 駐車場側に 職員室・調理室・遊戯室 を配置し、
災害時の地域開放を視野に

■柱Ⅳ 地域とつながり、
子育て支援や交流の機会を生み出す施設

(交流性) 抜粋

①地域とつながる子育て拠点施設



エントランス前に
時間外保育室兼絵本コーナーを配置
子育て支援スペースとしても使用可能
親子で気軽に過ごせる交流スペースとして活用可能

時間外保育室イメージ

■柱Ⅴ 周辺環境を活用し、
自然とふれあいや学びが広がる施設

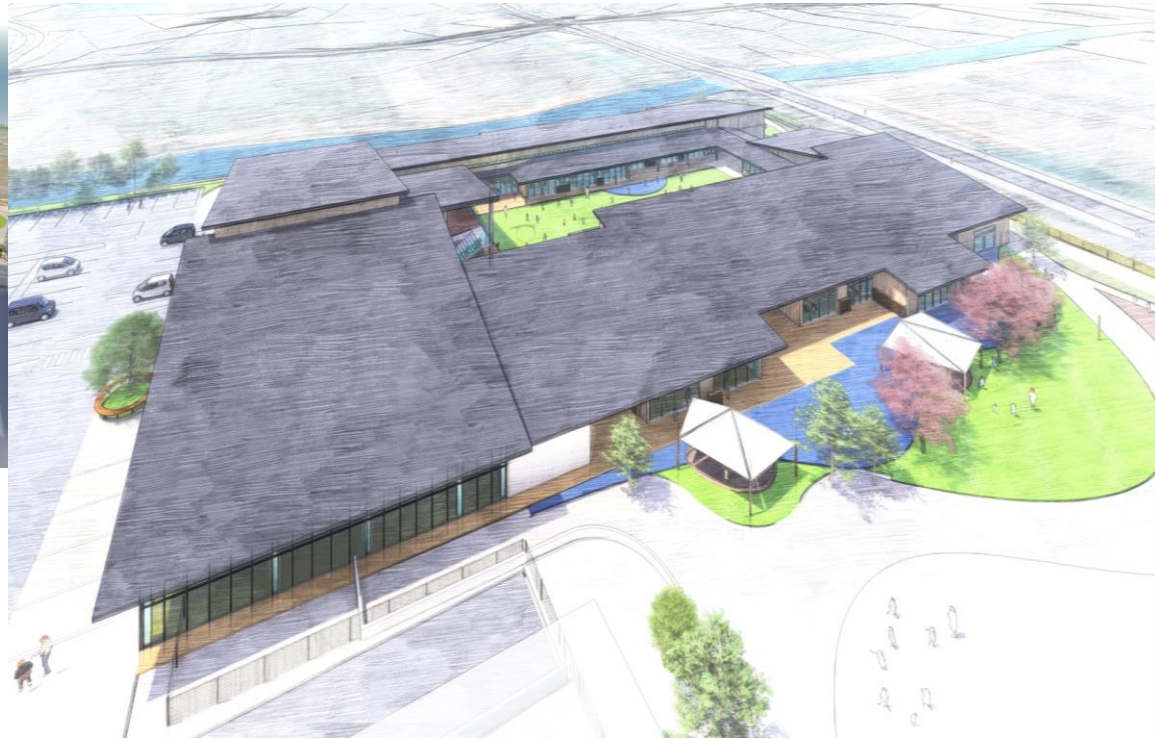
(周辺環境) 抜粋

②施設・屋外空間の自然との共生

- ・ 周辺環境に配慮した建物形状



正面側は、
綿向山の稜線と
呼応する**大屋根**



[家]のスケール感

保育室は年齢ごとに独立した小さな家
のように多様な活動に配慮

中庭・園庭・外庭と**3つの異なる庭**を設け、
日常的に自然と触れられる環境をつくります。

中庭：落ち着いた活動、異年齢交流の場
(未満児の広場・築山)



中庭

園庭：広いスペースで活動的に動く場
(運動の広場、どろんこ広場、芝生の広場、遊具エリア)



園庭

外庭：起伏のある緑豊かな
観察の場

(みはらし広場、芝そりの丘、
雑木の庭(ビオトープ)、
育てる庭(畑・果樹園)、)



外庭

③地域と連携した持続可能な運営

- ・ 探求する学び

こども主体の**探求する遊びを促進**する
シンプルな遊びの場を提供します。



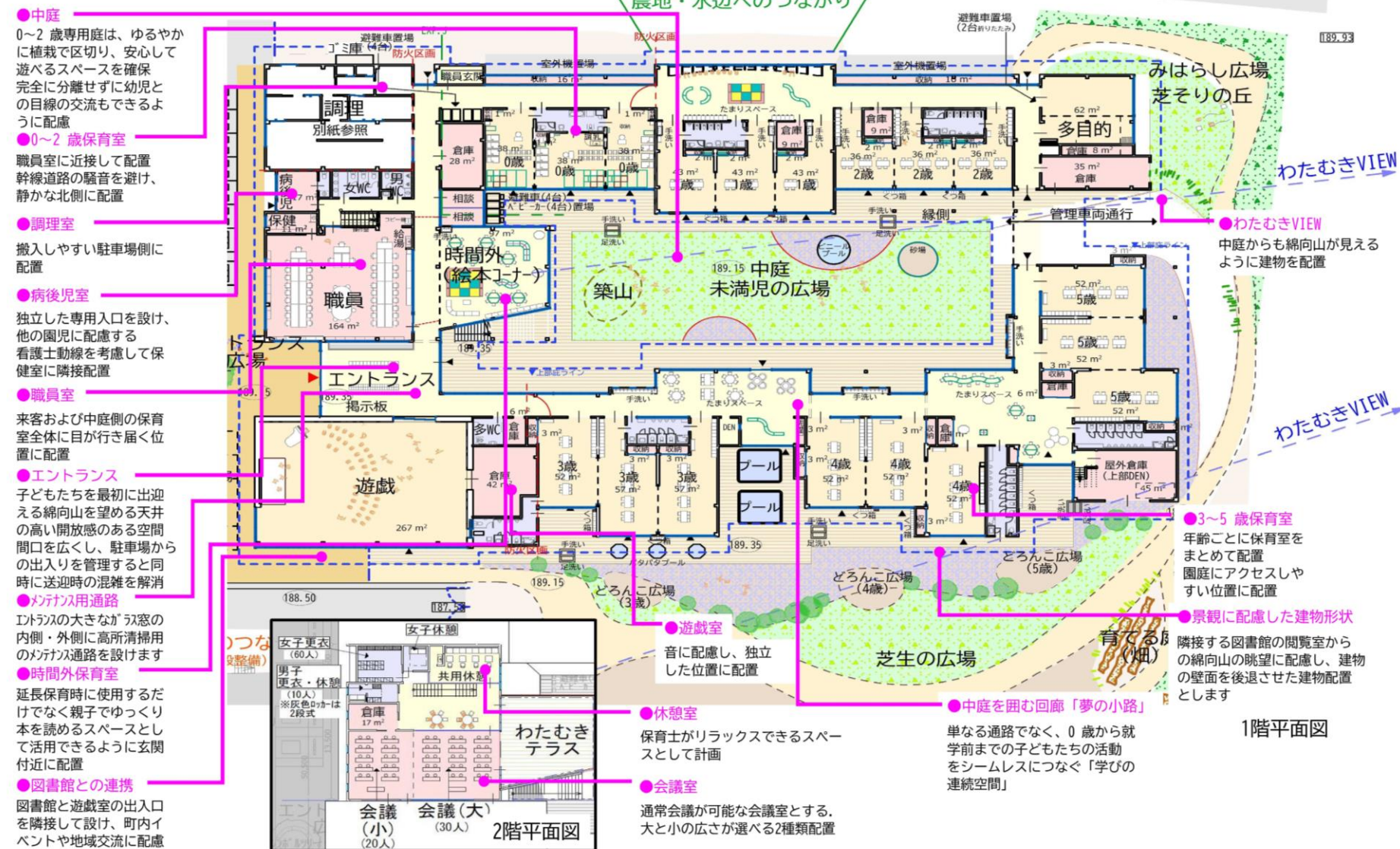
・ 近隣施設との連携

図書館と遊戯室の出入口を隣接して設け、
町内イベントや地域交流に配慮します。
遊戯室横にはかまどベンチを設けて、
イベント時や災害時に遊戯室と
エントランス広場を一体的に利用できます。



② 基本設計図

前項のゾーニング計画を反映した平面図を下記に示す。



- ・ 周辺環境に配慮した建物形状
綿向山の稜線を背景に稜線と呼応する大屋根と
[家]のスケール感を大切にし、
年齢ごとの保育室は小さな家のようなイメージ
とします。



西立面図



南立面図



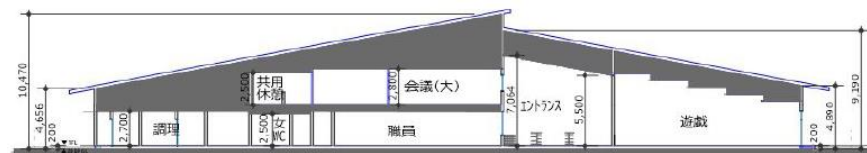
東立面図



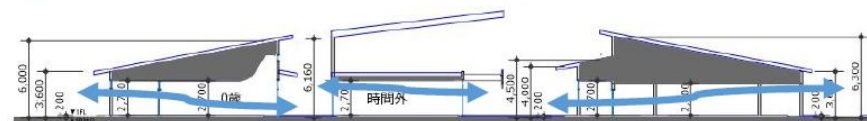
北立面図

立面図

- ・ 片側廊下の配置を基本とし、
中庭-保育室-外庭と自然通風がとれる
計画とします。



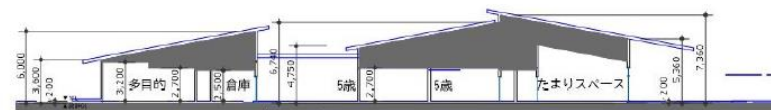
A-A断面図



B-B断面図



D-D断面図



G-G断面図

断面図



イメージパース 27



イメージパース 28